

## 検察による強制捜索に対する正義連の立場

正義記憶連帯は外部会計検証手続きの過程で行われた検察の電撃的押収捜索に遺憾を表明します。正義連は公正な捜査手続きを通じて、この間に提起された疑惑が迅速に解消されるよう期待しています。

### <質問に対する説明>

#### 1.外部会計監査関連

韓国公認会計士会を通した外部監査手続きを推進中であつたが、検察による昨日(5.20)と今日(5.21)の強制押収捜索で「韓国公認会計士会」より「捜査機関の捜査、刑事訴訟などが進行中である場合、外部監査人の会計監査業務遂行は困難であり、推薦できない」という通知を受けました。

会計関連証明資料がない状況なので監査依頼自体が不可能だということをお知らせします。また、公示や会計など関連事項に対するメディアの質問は、会計資料が押収され、検察の捜査中という状況であるため、回答は不可能であることをお知らせします。

#### 2.日本軍「慰安婦」被害者と被害者家族に対するメディアによる取材に関連

最近被害者ハルモニと被害者家族に対するメディアの取材が頻繁な状況であることが確認されました。高齢の被害者の健康状況などを考慮し、被害者ハルモニと被害者家族に対する取材を自制して下さるようお願いいたします。

2020年5月21日

(翻訳:方清子)